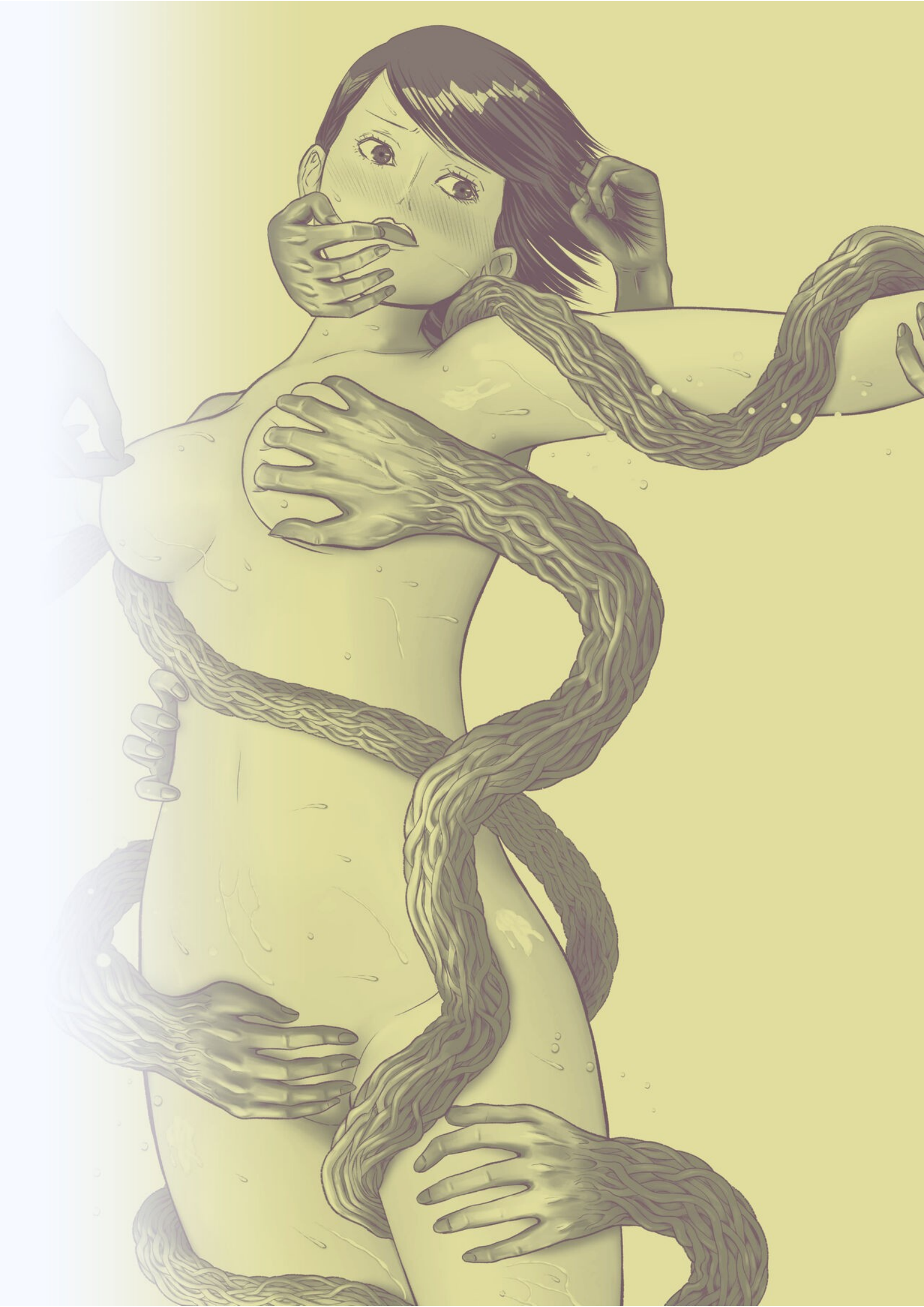
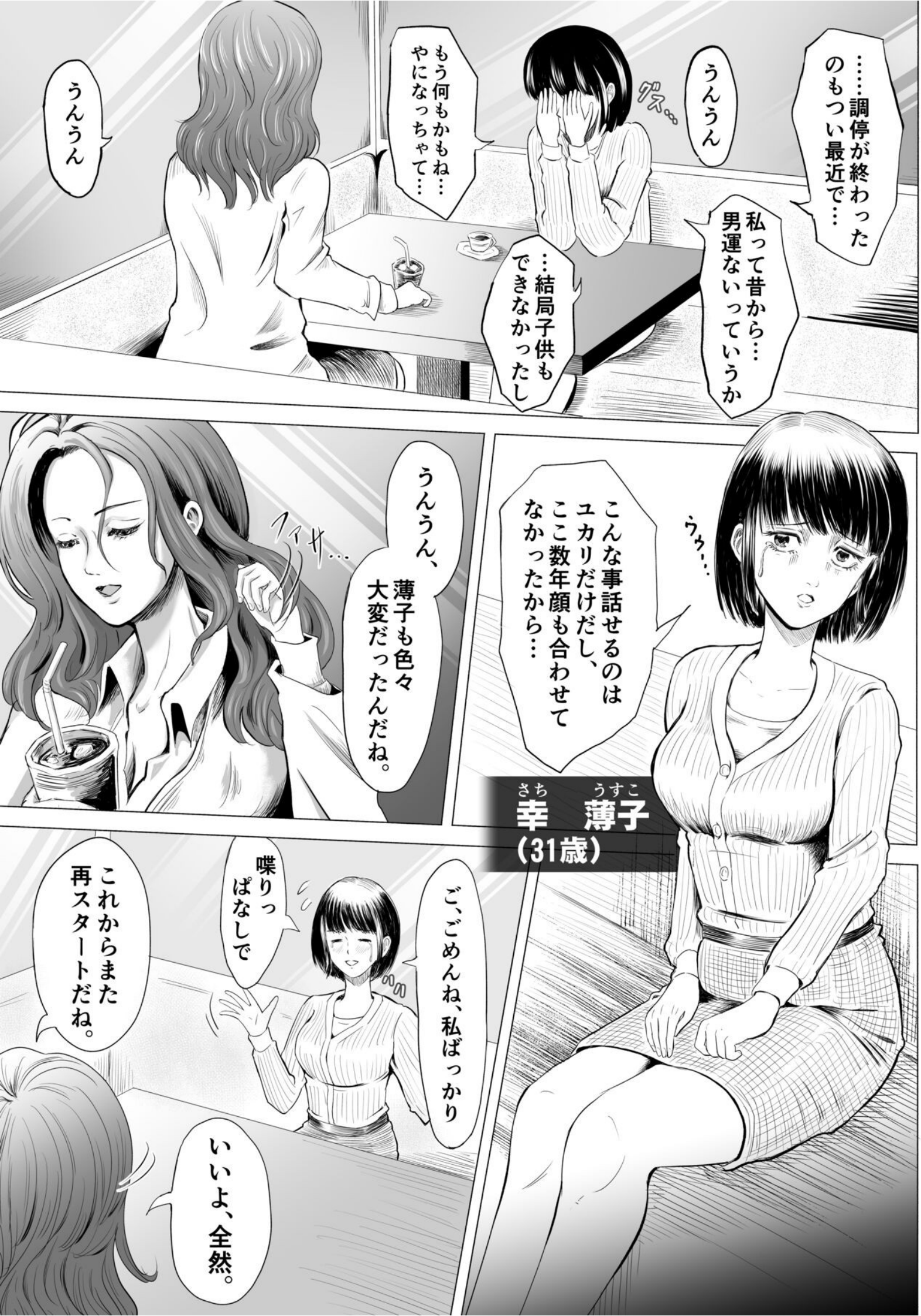
宇宙教団体

written by IFT七

不思議の絡まれ方VOL.1




……調停が終わったのもつい最近で…
うんうん
グス…
私って昔から…男運ないっていうか
もう何もかもね…やになっちゃって…
…結局子供もできなかったし
うんうん
うぅ…
こんな事話せるのはユカリだけだし、ここ数年顔も合わせてなかったから…
幸 薄子（さち うすこ）
（31歳）
ファサ…
うんうん、薄子も色々大変だったんだね。
ご、ごめんね、私ばっかり
喋りっぱなしで
これからまた再スタートだね。
いいよ、全然。

福（ふく） ユカリ
（31歳）
うん、
あとね…
少し不思議に
思ったんだけど…
ユカリ私と
同い年なのに、
全然昔より若く
見えるし、
なんか
輝いてる
っていうか…
何かあったの？
ニコ…
え？
うーん…
コイ…

特に大した事ではないんだけどね、
カラン
一つ新しく始めた事はあるんだ。
良かったら薄子も一緒に初めてみない？
？
人生変わるかもしれないよ？
え？人生が・・
変わる・・・？

それから私はユカリに連れられてとある場所へとやって来ました。

宗教団体珍宝教

え?!宗教…

大丈夫大丈夫！

全然心配する事ないから！

恐る恐る足を踏み入れたその施設には、私の心配が拍子抜けするくらい

アットホームで自然体の明るい人々が数十人程集まっていました。

ガヤ ワイ ワイ ガヤ

あらーユカリちゃん、久しぶり！

あれ、その子はひょっとして初めての子かしら？

そうなの、今日はちょっと体験に

あ、はい、よ、宜しくお願いします。

ワイ ワイ

全くもって怪しさなどない、気のいい人達に囲まれて、いつの間にか私はリラックスしその和やかな雰囲気に飲まれ、日々の陰鬱な気持ちから解放されていました。

それから私は時間を見つけては施設に通い始めました。そこではまるで自分の居場所ができたような安心感が得られたからです。

特に活動のようなものもなく、いつも信者の方達とコミニケーションを楽しむだけの団欒の場でありました。

あっという間に時間は過ぎ、三カ月が経とうとしていた、そんなある日の事…

ハハハ アハハ

あらーそれは素晴らしい事だわ

ニコッ

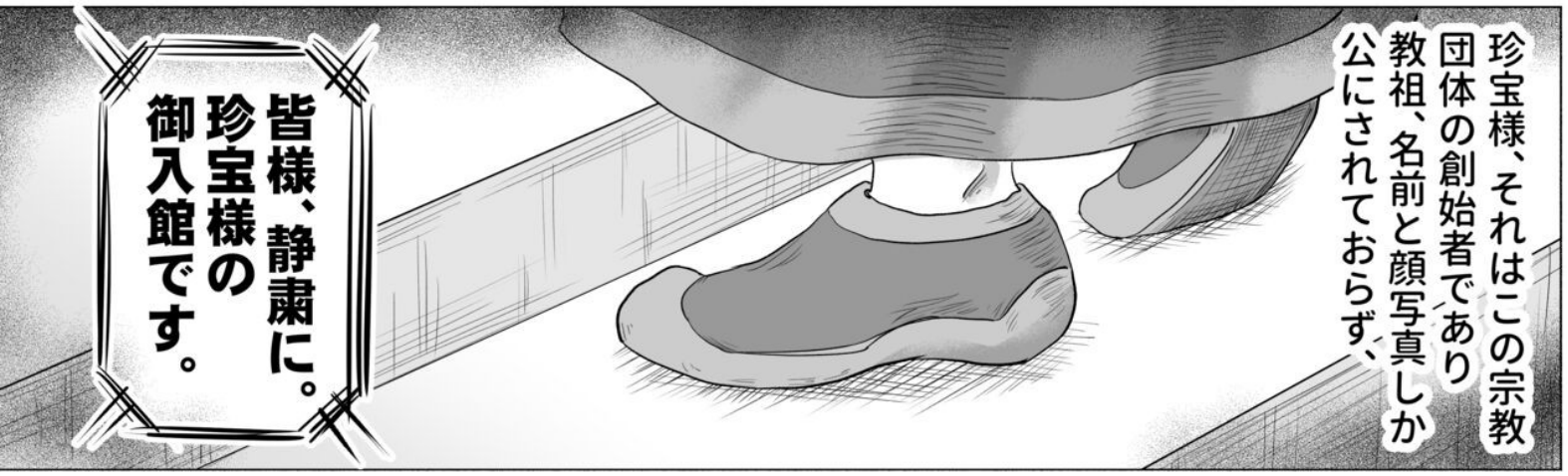
ぜひ楽しんでいってね。

ペラペラ

私もそういえば友達の紹介がきっかけだったのかれこれ五年前…

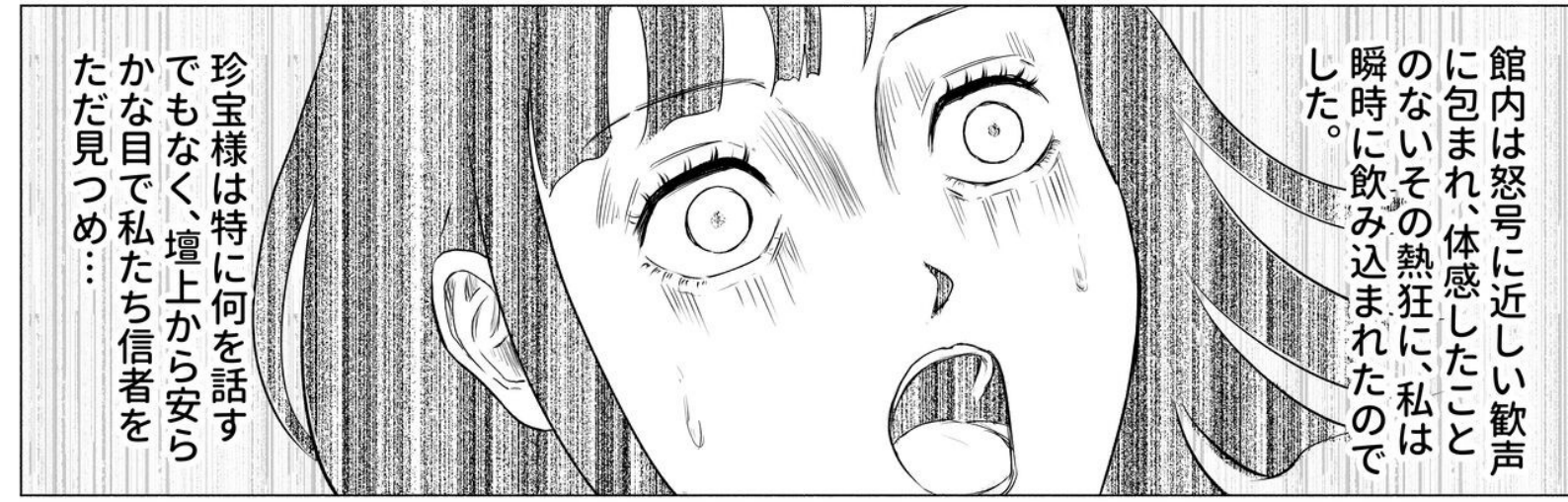
ポン

え!?ほんとに!?
ザワ
ザワ
ザワ
え？何、なんで
こんなにみんな
ざわついてるの？
オド
オド
薄子!?
聞いた??
すごい！
信じられない!?
お見えになられたのよ！
あの珍宝様が今しがた
この施設に!!
ドン


珍宝様、それはこの宗教
団体の創始者であり
教祖、名前と顔写真しか
公にされておらず、
皆様、静粛に。
珍宝様の
御入館です。

その人物像については憶測や
噂話が入り混じって、人智を
超えた存在、現人神（あらひとがみ）と称されて
いたのでした。
うわあああ～～～～～～～～
!!!!!!!!

珍宝様〜!!!
ドーン
珍宝様〜!!!
ワーン


館内は怒号に近しい歓声に包まれ、体感したことのないその熱狂に、私は瞬時に飲み込まれたのでした。
珍宝様は特に何を話すでもなく、壇上から安らかな目で私たち信者をただ見つめ…

そして指を
指し示されました。
スッ…

貴方です。
ス…
え?!
え?
ウソ!?
ビシッ
え?私?何!?
そんなことが!?
おめでとー!!
ド
ド
ド
パチ
パチ
パチ
え?
え?
すごすぎる!
おめでとー!!
ド
ド
ド
パチ
パチ
パチ
薄子!あなた選ばれたのよ!珍宝様の禊(みそぎ)の洗礼者に!
ワー
ワー
滅多にない光栄なことよ!おめでとう。
パチパチ
うん。
館内は瞬く間に拍手の渦に包まれ、私は理解できない状況に混乱しつつも、多くの人たちの羨望の眼差しを受け、奇跡的な幸運に恵まれたような高揚感と、超越感に満たされたのでした…。

私は黒服の方に連れられて、各館に用意されているという珍宝様用の個室へと案内されました。

ここに手荷物を置いて頂き、清めの御茶を飲んで扉の奥へどうぞ。

ゴクリ

よく分からないけど、なんだか高そうな味だわ。

「禊（みそぎ）」、それは教祖である珍宝様自らが、一信者に対して行う洗礼の儀式

珍宝様の神がかった霊力をもってして、洗礼者の穢れや罪や不幸を招く数多の要因を祓い清めて頂けるという。

そしてそれを受けられる信者は稀であり、その選別要因も時期も不明、ただただ幸運の証であるのだと信者の間で語られていたのでした…。

は、初めまして！わ、わたし…

そんな凄いことに選ばれるなんて、私でいいのかしら？私みたいな人間が幸運に見舞われるなんて…。

ガチャ

お待ちなさい、
何も仰ること無かれ。

ここにきて
御座りなさい。

好き！
ゆう君
大好き！
薄子ちゃん！
中に出していい？
えっ？
う、うん！
いいよ！
中に出してっ！
パン
パン
パン
パン
男性に対する痛みが見えます…
うっ!!
ビッ
ビッ
ビッ
ビッ
ビッ
ああああん！
…薄子ちゃん、
話があるんだけど
なあに？
ゆう君。
実はさ…
別れて欲しいんだ。
…えっ?!
好きな人ができたんだ。
ごめんね。

ハムッ！
たか君！
グポ
うぷっ！
ヌプッ
ジュル
ブチュ
薄子ちゃん！
顔にかけてもいい!?
うん！
ヌプ
グポ
…うう？
あなたはただ相手に尽くしてきたのに
うっ！
ドピュッ
あん!!
いつも裏切られて終わってきた…
たか君
ただいまー。
ガチャ
…え？
薄子ちゃんへ。
好きな人ができました。
今までありがとう。
楽しかったよ。

カシャーン
スパーン
くふっ！
これは…暴力ですね…
口答えするんじゃねえって
何回言えば分かんだよ！
クリ
いつまで経っても
まともな飯一つ
作れねえのか！
あうっ！
グイ
ご、ごめんなさい！まさしさん
今日は私も仕事が遅くて…
結婚生活も上手くいかなかった…
お前みたいな
ダメな女はな！
ツツ
グッ
あなた！
やめてっ！
バタ
旦那の性処理でしか
お役に立てねえ
クズ嫁なんだよ!!

はっ！
うん！
どうだ!!
やっ！
気持ちいいか?!
メス豚め!!
今まで入れた
チンポで何番目だ!?
ほらほら!!
男性に制欲を満たす道具として
扱われた時期もありましたね…

薄子さん、貴方は…

たくさん辛い思いをしてきましたね…
ううううっ
すごい、ユカリにすら恥ずかしくて打ち明けられなかった事まで…
もう泣かないで大丈夫ですよ薄子さん。
ううう！
ポン
珍宝様！
ニコッ
この人は本物だ！
私が今日ここで貴方に不幸を呼び寄せる原因
貴方の中の穢れを取り去って差し上げましょう。
グスン
それでは、まず…

まずはお召し物を御脱ぎください。「禊」で心も体も生まれ変わるのです。
ドキッ
え？服を？
ニッ
そうです、生まれたままの姿になり、もう一度神に愛され直すのです。
…は、はい。
は、恥ずかしいけど、珍宝様なら信じられる…
これで不幸な運命から逃れられるなら…
スルル…
ス…
さあ、この卓上に横におなりなさい。

は、恥ずかしい！
ブル
ブル
珍宝様が私の穢れた体を見つめてらっしゃる。
じー
見えます、見えますよ。体中に穢れが満ち満ちています。
え？そんなにですか？私、ど、どうすれば…
心配は入りませんよ、私が一つずつ全てを祓い清めましょう。
は、はい、お願いします。
あれ、なんだか頭が少しポーっとしてきた気がする。体もなんだか少し熱くなって…。
ハア
ハア
ハア
…おや？

それではまず、
体中に散らばった穢れを
局部へと祓い出す為の
霊的触診を行います。
は、はい…。
モゾ
モゾ
体が熱くなってきましたか？
無理もありませんね…。
私のような霊位の高い存在と
閉ざされた空間に居れば
その影響で気絶する人すら
いる程です。
さすが珍宝様だわ…。
そんなすごい方がこんな私の為に…。

ツー
ス…
ああ、珍宝様の指が私の穢れた体をなぞってゆく…
ツツツツ…
ビクッ
ううっ!!
サワ…
いや、なんで？私、声が…
構いませんよ、体の中の穢れが私の霊気を感じて、のたうち回っている証拠です。
貴方は体の力を抜いて私に身を任せるだけでよいのです。
は、はい！
フッフッフ
ビク
ビク
サワ…
あああっ！

はあ、はあ…いや、私まるで感じてるみたい…！
ハアッ
ハアッ
こんな徳の高い方が私みたいな人間の為に必死になってくれているのに…。私ったらそれに感じてしまってるなんて…。
フー
フー
どうですか？穢れが流れるのを感じますか？
スルルル…
ビクッ
は、はいっ！
はあああうん！
だいぶ流れてきましたね。それでは次は…
ん…
ブリン
グッ
流れ損ねて皮膚の表面へと浮き上がってきた穢れを、この聖なる舌で祓ってゆきます。
レロン

ビクッ
ひいいっ!!
ベロ〜
ああ、そんな…こんな私の穢れを神聖な珍宝様のお口で舐め取ってくださるなんて!!
あああ、恥ずかしい…!
はああ、申し訳ないです!!
ズベロロ〜
ううううん!
レロ
レロ
ムズ
ムズ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ミチャ
ムチュ
ビクッ
あっ!!
は、はい、お願いします。
さあ、順調ですよ、次は局部に集まった穢れを吸い上げていきますよ。

ああああ、珍宝様の清らかな舌が…
ハアッ
ハアッ
私の穢れた口の中に…
レロ
ハァ
ハッ
ハァ
ん？
ハァ
ハァ
じゅるるる!!!
ああああ！私の汚い唾液を飲み干してらっしゃる…！
モゴォ

…さあ、代わりに私の聖なる唾液を体内に流し込むのです。
ゴクン…
は、はい。
ダラ～
これが珍宝様の聖なる唾液…ああ、私の中に流れ込んでゆく！
ドクドク
グッグッグッ
グッグッ
はう、はうん、ごく、ごく!!
ああああ、全身の熱さがものすごい！
ビクン
ビクン
ふうむ、いいでしょう！次は胸の局部から穢れを抜き去ります!!

はむん！
ああああ!!
穢れめっ！
出てゆくがよい！
そらっ！これでもか！
ハイ！
沢山の男に弄ばれた私の穢れた乳房を、
珍宝様が清めてくださるなんて…
ああんっ！
だ、だめです
珍宝様～!!

ハアアアッ!!
クッポ
ビクッ
ビクッ
え？…私…
いっちゃったの？
ガクッ
カクッ

グスン…
こんな聖なる儀式の最中に、なんてだらしない女なの…
自分自分でが嫌になる…。
ペロリ…
恥ずかしがる事はありません。構わないのですよ…。それは大きな穢れが今まさに一つ払われた証拠なのです。
私に全てをお任せなさい。
ハッ
ハッ

…そ、そうだったんだ！またいつもみたいに自分を責めてた。珍宝様はこんなに必死にがんばってくださってるのに、私もしっかりがんばらないと！
はい!!
グスン
フフフッ
では次はココですね…。

パカーン
ハイッ
アアッ!!
ビクッ
力をお抜きなさい。
カリッッ
ううむ、凄まじい穢れが凝り固まっていますね。取り祓ってみせましょう！
ウウウッ…
ハッ
ハア
ああ！私の穢れたアソコを珍宝様に見られてる！

アアアアアア!!
ズベロレロ
ハイッ
メスイキー
メス
ンン!!

じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
その調子ですよ！
さあもっと穢れを
吐き出しなさい!!
ビクッ
ビクッ
ひぃ!!
ああ、恥ずかしくて死にそう！
自分で分かるくらい私のアソコから
薄汚い汁が沢山流れ出してる!!
はあいいいい！
あうん！はうん!!
グイ
グイ
プルン
ビクッ
プル

もう、だめぇ～！
ああああああ～!!
ビクビク
ビクビク
ジュル
ジュル
ブッ
ブッ
ガク
ガク

ああ、珍宝様が私の汚い汁塗れに…。

ペロッ

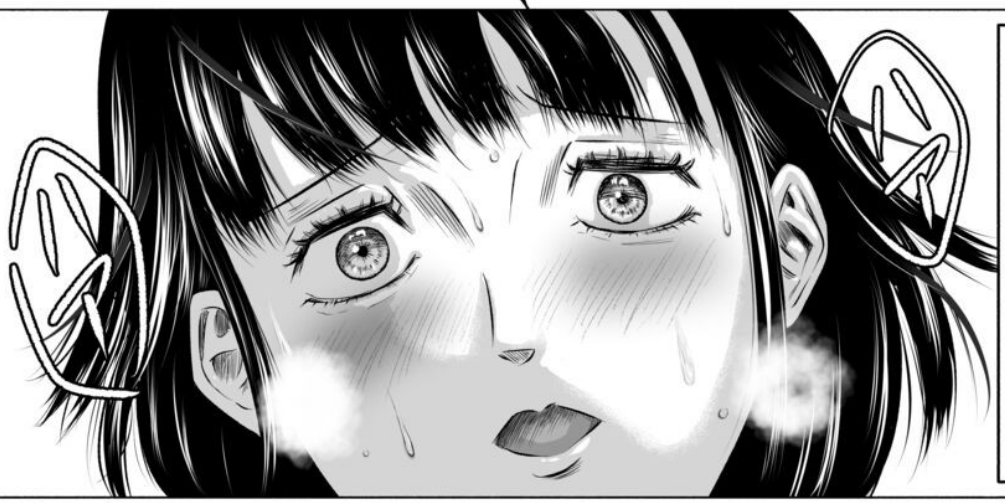
ポタ

ポタ

よく頑張りましたね、薄子さん…。しかし、これだけでは完璧ではないのです。

ええっ!?

穢れを祓って今貴方はフラットな状態になった…。ここから更に、貴方に幸せを呼び込む為に聖なる力を宿さねばなりません…。



ああ、そうか、不幸を呼び寄せる力があるのなら、それとは逆に幸福を呼び寄せる力もあるんだ…。

…幸せに

…なりたい！

まだ頑張れますね？

ペロ

ペロ

薄子さん？

はい、私、頑張ります！

よろしい、では…

これからは私の全身全霊を用いて、
貴方に聖なる力を注ぎ込みます…
ぬぎ
ぬぎ
ピカー
ズリッ
ズリッ
ズリ
ああああ、珍宝様が生まれたままのお姿に…
この聖根(せいこん)を通じて!!
ああ！珍宝様のアソコが露わに…、
なんて力強くて清らかなの…、まるで後光さえ感じるような…。

さあ、まずは口からいきますよ！
はひぃ…
ツボ
ツボ
んっ！
あむっ
アッ
グイー
ビクッ
ビクッ
私の聖根を口の中で存分に愛でるのです！

そうです、パックリとお口を開くのです。
ハァッ
ハァッ
ハァッ

ああ、私の口一杯に珍宝様の清らかな聖根が…
ビインッ
ハンッ!!
ハンッ!!
ハンッ!!
ズボッ
グムムッ
ズポッ
なんて熱くてたくましいの…!
グポッ
グポッ
ハアッ

そう、いいですよ！
祓い給え!!
清め給え!!
頑張りなさい！
薄子さん!!
グプッ
グプッ
ゴプッ!!
グヴヴ
ビクッ
ビクッ

愛しい！
珍宝様の聖根!!
この口の中で
果てさせたい！
グポ
ジュプ
グッ
グポ
モグォオ
熱い！
私の穢れた…
穢れたアソコが
燃えるように熱い!!

むむっ！
さっき祓ったばかりなのにもう乳房に穢れが溜まっている！この忌々しい穢れめっ！
ムミ
ムミ
グム
グヴグヴ
シン!!
よほどこの乳房が気に入ったとみえる…。強めに祓わねば！
グヴグヴ

えい！
やあ！
バチン
バチン
んんんんん！
バチン
そ～れそれそれそれ!!
ビクン
ビクン

もうすぐです！
全てを受け止めなさい！
行きますよ薄子さん!!
グッポン
ズッ
ズッ
グポン!!
ズッ
はひぃ、
頑張りまふぅ！
!!
出ますよ！
聖なる液がっ!!
せいや〜〜!!
ドクン
ドクン
ドクン
グプッ
ドピュ

ゴクン
あああああ！
珍宝様の聖なる体液が
私の内臓の中に…
なんていう幸福感！
心の底から清められて
いるよう…！

ふう…、ようやくこれで準備は整いました。
禊ぎの仕上げに入りますよ…。
ハアッ
ハアッ
ハイッ
ハイッ
さあ、残り汁も綺麗におしゃぶりなさい。
そしてその穢れた股間を押し広げて、この清らかな聖根をおねだりするのです…
神に愛を請うが如く！
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
んっ!!

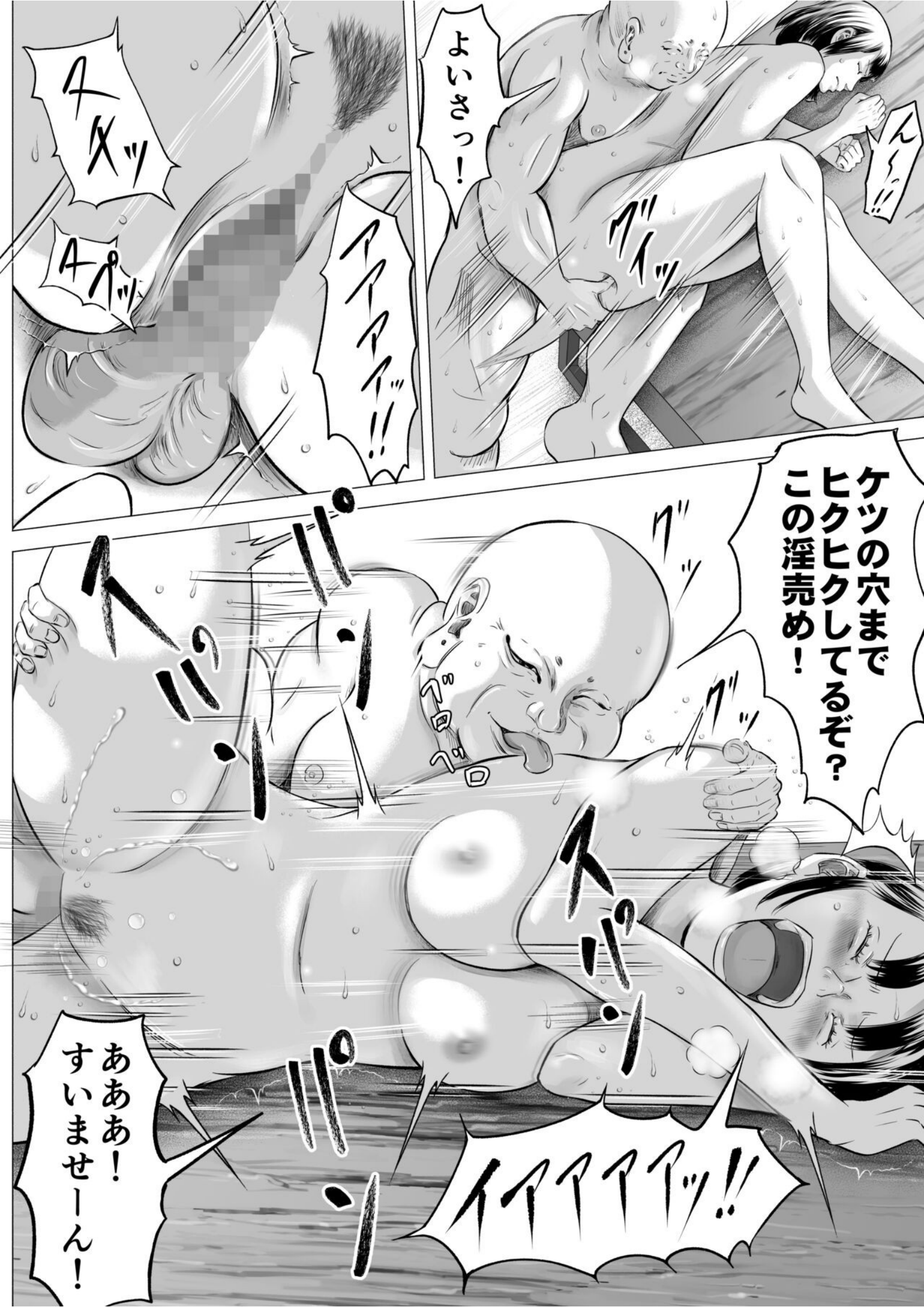
はあ、はあ…ち、珍宝様、どうかこの穢れた女の穢れた…マ〇コに…
その尊い聖根を、ね…ねじ込んでくださいませ！
ハア
ハア
ピク！
ピクッ

私ったらなんて卑猥な言葉を…
でももう止められない、
体中が疼いて破裂しそう！
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ズドーン

パーン
ひゃあああああっ!!
バーン
パン
パン
よくできました！
さあ、ここからは
激しいですよ!!
は、はい！珍宝様～!!

これまでの貴方の罪を認め生まれ変わるのです！
どんな激しい叱咤も神の試練として耐え、神の愛を獲得するのです！いきますよ！
パンパンパンパンパンパン
アアアアッ!!
ズチュ
グチョ
クッ
チュプ

熱い！
アソコが熱い！
珍宝様の聖根が
内臓を押し上げて
体いっぱいに！
はひいぃ!!
どうした！
ゆるんできたぞ！
何人の男のちんこを
咥え込んできた？
このヤリマンが！
ううう！
申し訳ありませんでした～!!


よいさっ！
ん…!!
グイッ
ケツの穴まで
ヒクヒクしてるぞ？
この淫売め！
グッ
グッ
ヴロヴロ
パン
パン
パン
パン
イイアアアッ!!
ああああ！
すいませーん！

天高く尻を突き上げなさい！
パン
パン
パン
はうっ、はうん！
まだまだ高く！懺悔が足りませんよ！
んんっ！
はあ、はあ、なんて激しい責め苦なの！
ほらほら！神の愛が体内に出入りしているのを感じますか！
あひぃ！感じまひゅ！

さあ、お口がお留守ですよ薄子さん！
ビクン
ビクン
ハァッ
ハァッ
甘えてばかりいないで自ら神にご奉仕なさい！
モゴゴゴオオ
は、はひぃ！
グボッ
ゴプッ

さあどうだ！
聖根おちんぽの味は！
ズポッ
グイッ
グイッ
ブピュ
ガシッ
おいひぃです！
ありがたいです!!
しっかりシャブれよ！
この口オナホが！
グヴヴヴヴッ
んん！
グプッ
珍宝様のおちんぽ
すごく硬くなってる！

さあ薄子さん、満足しててはいけませんよ！
!!
ガバッ
あっ!!
よっと！
グイッ
ゴロン
さあ！穢れた股ぐらを開いて
い!!
ドオッ
自分で聖根を挿入してみなさい！

はっ！珍宝様がこんなにも疲労してらっしゃる！
ズバッ
私ったら全てを珍宝様任せにして…。
ハッ
幸せは自分で掴み取らなきゃ…！
はあ
はあ
ハハッ!!
ビクッ

あぁん!!
アアアアアアアアアアアア～!!
ビクンッ
ビクンッ
ガクッ
ガクッ
ズリュリュリュリュッ!!

ミチュ
グジュ
アヴッ
イッ
あぐぅ！
はうぅ！
ハアッ
ハアッ
しっかり腰を
使って罪を
清めなさい！
このメス豚め！
ズポッ
ズポッ
ズポッ

いい腰使いでしたよ…。聖根を通じて神様もお喜びでしょう。
は、はい！
ですが…
これからです！
プル
ハアッ
ゼェ
ハアッ
プル
プル
パンッ
パンッ

さあさあ
穢れた
メス豚よ！
ピシャーン
スパン
パン
パン
スパン
お願い
してみろ！
ハッ
ンッ
ズッ
ズッ
どこに何を
どうして欲しい？
ビチュ
ズッ
ズッ
グチュ
ズッ
ズチョ

はいぃ…、珍宝様の、野太い聖根オチンポの
聖なるザーメンを、このメス豚の穢れた…
マ…マ〇コの中に、溢れる程に注ぎ込んで欲しいですぅ〜〜!!!
ハッ
ウッ
パン
よ〜〜しよかろう!!
ゼェッ
ハァ
ヘ-!!
こりゃ絶景!

神を讃えよ！
神に平伏せ!!
ああああぁぁぁぁ
珍宝様～～!!!
ゾクッ
ゾクッ
イッ
アン
クア
パン
ビッショ
グチョ

神を求めよ！
ドン
ドン
ドン
ドン
ブチュ
ふむうぅ!!
神を
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
ドン
受け入れよ!!!

孕は
れるや〜〜〜〜
!!!
ドクン
ビクッ
ビクッ
ドクン
ドクン!!
ひいいいいいいー!!

ハァ
ハァ
ハァ
ガクガク
ビクン
ビクン
ビクビク
グッタリ…

感じますか？聖なる力を
…はい、珍宝様…。
いや、まだです。
スッ
うつ伏せになりなさい。

ここです！
まだこの穴からは穢れた
気が満ち溢れています。
ビクッ
ビシッ
薄子さん、分かってますね？
どうすればいいか？

も、もう少しで…
ハア ハア
幸せがすぐそこに…
ピクンッ
ち、珍宝様…、
この穢れたメス豚の
薄汚いお尻…、
け、ケツの穴に…
うう…
聖根お、おちんぽを…
深く深く突き刺して
ください…！
ぱぁぁ
プルッ
ダラー
プルッ

素晴らしい成長ですよ薄子さん。
ゼェッ
ゼェッ
プル
プル
神もお喜びになるでしょう。さあ、それでは…
グッグッグ
グッグッグ
少し痛みますよ…
!!!!!!

あああああ～!!
珍宝様～～～!!

ジュポ
ハッサッ
ハァ
ハッ
フゥ
フッ
ハァ
ジュポ
ヌポッ
ヌポッ

ギチギチに締め付けてますよ
薄子さん!!悪い子だ!
はああん珍宝様!
お尻の穴こわれちゃう!!
アン
アッ
ハン

数日後…

あなたに貰ったこのメモのおかげで
上手くいきましたが…

あなたもホントに罪な人だ…
んぐっ
んっ!
んっ

ユカリさん…。
ふぐっ、はぐぅ!
何があなたをそこまでさせるのか…
ジュブ
チュパ

いやん！ゆう君！
ぱん
ん！
もっと！もっと奥まで！
ズプ
ジュプ
薄子と別れたら毎日
中出しさせてあげる。
ハァ
ハァ
今まで薄子さんの男を
全て寝取っては操り、
彼女を傷付けてきた…
はあああ！
まさしさん！
ヤッ
イッ！
ズボ
いっちゃういっちゃう！
まさしさん、会社の経営に
困っているのよね？
薄子のこと痛めつけて
くれたら相談にのってあげる…。
ハッ
ハッ

まあわたしは信者も増えて感謝していますが…
ビッ!!
グッ
ドクッ
ドクン!
うんん!!
単純にあの子の事が…
そうね…、
ずっと気に食わないの。何の努力もせずに周りからちやほや可愛がられて…
フアサ…
自業自得ってやつよ。

あんな女の事より早く珍宝様！
あのお茶で楽しみましょ!!
ふふふっ！ユカリさんは本当に
あのお茶がお好きですね！
アッ
ウン
ズチュ
ヌチュ
ヘッ
イクッ

一年後…
ガヤ…
ガヤ…
NO PLAN
Neolife

…って感じでさ、
私ってばダメダメなんだ…。
うんうん。
大変だったね、知佳ちゃん。
うん…、っていうかね、なんか久しぶりだからか…
すごい感じ変わったよね？
何かあったの？

宗教団体
～完～

宗教団体

～不幸の絡み付く女～

著者／ラケモ
発行日／2023年6月25日

©2023 Rakemo All rights reserved.

当作品を、権利者の許可なく複製、転用、販売などの二次利用することを固く禁じます。

ご愛読
感謝！